

放課後等デイサービス事業所における
自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 15 日

事業所名 くれよんきっず

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	適切な活動スペースを確保し、活動しやすい環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	適切な人員配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	建物の構造上完全なバリアフリー化は難しい現状ですが、安全面に留意し設備等の配置を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	施設会議や朝礼等で周知し、全職員の意識づけを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	保護者からのご意見を大切に、意向も含め必要な場合は迅速に対応しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	現在はご利用者と事業所内の評価のみとなっておりますが、今後の検討課題として参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	施設内研修や外部研修の参加を定期的に行い、支援の質の向上に努めております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	保護者面談や職員会議を行い、ニーズを把握し支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	他機関での心理検査やアセスメント等を保護者様から共有いただき支援の参考にしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	子どもの状況把握や課題の分析を行い、会議等で提案や意見等を出し合っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	個別・集団・イベントを組み合わせながら、子どもの特性や年齢を考慮し、毎月のプログラムを作成しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	定期的な会議や日々の支援を情報共有しながら、イベントや体験等を取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	個別・集団・イベントを組み合わせながら、子どもの特性や年齢を考慮し、個別支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	朝礼にて一日の流れや支援内容等を確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	支援経過記録や申し送りノート等支援の振り返りを行い、共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	支援記録や業務日報等で状況の把握と支援の検証を行い、改善につなげています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	概ね6ヶ月に1度モニタリングを行い、見直しをしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	ガイドラインの理解を深め、支援の質の向上も含め行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者や精通した者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	学校訪問も含め、情報交換・共有を行い学校との連携を図っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	現在該当児はおりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	保護者からの成育歴等の聞き取りや、関係機関との情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5	現在該当児はおりません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	関係機関との連携を図りながら、市の研修等を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0	外出やイベント等で交流の機会を設けています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5	積極的な参加は出来ていません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡帳やお手紙・電話等で共通理解を図るよう努めています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	必要に応じて保護者に支援方法やアドバイスをお伝えしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に重要事項説明と併せて実施しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	定期的に面談を行い、悩みや相談を伺い、必要な助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	保護者会の開催や、保護者参加のイベントを実施し、保護者同士の交流の機会を設けています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	相談や申し入れがあった場合は、電話や面談等にて迅速かつ適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月のお便りやInstagramで発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	同意書を取り交わし、個人情報保護規定に沿って対応しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	個々の特性を考慮し、可視化やサイン等、配慮しながら行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	招待などは行っていないですが、近隣への挨拶や地域の掃除等を行い、交流が図れるよう努めています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	マニュアルを策定し、定期的な研修等を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	年2回避難訓練を実施し、保護者にも対応マニュアルをお渡ししています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	虐待防止委員会を設置し、定期的な社内研修や外部研修への参加を行い、虐待防止の徹底に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	現在身体拘束は行っていませんが、必要時には十分な説明、了解を得て個別支援計画書に記載して参ります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	健康状況票を記入して頂き確認をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	事業所内で起こったヒヤリハットはファイルにまとめ、職員会議で内容を共有し改善策を話し合っています。